

——その種目の魅力はどんなところにありますか。

木村:2周の中で大きくレースが展開するので、走っている側も、見ている側も最後まで何が起るかわからないハラハラ感を感じられる所が魅力だと思います！

また、800mはスピードと持久力の双方が求められる種目ですが、選手の持つ強みは多様で、自分の強みをレースで生かすための戦略を立てる難しさにも魅力を感じます！

スピードと持久力、、選手それぞれの強みがあって色んな個性があるんですね！ただ走るだけでなくその駆け引きもあるのは初めて知りました！

——チーム代表としての心持は(限られた人しか出る)のでできない日本インカレの選手として出場される心情などをお聞かせください！

木村:日本インカレの舞台に立つことが出来るのも、繁田監督をはじめとした監督・コーチ陣の方々、毎日練習を共に乗り越えてきた仲間、そして心身共にサポートしてくれたマネさんや家族のお陰です。

一人では絶対に成し遂げることの出来ないことも周りの方々の存在が私を後押しし、今回、日本インカレの舞台に立つことができます。

学芸大学陸上部の代表である自覚を持ち、周りの方々へ走りで恩返しが出来るように、最後まで戦い抜きます！

周りの人の支えは本当に大事ですよ！個人競技だからこそ、大切な存在だと気が付かされます！

——一緒に戦ってきたチーム学芸大学陸上部のいい所はどんなところだと考えますか。

木村:ブロックを超えて、皆のことを応援したいと思えるところです！

こんなにも陸上競技や自分と向き合い、周りから刺激を沢山得られる環境で部活ができていることが本当にありがたいです。

チームとしての一体感を感じますね！一人一人が陸上に向かいあっていると感じます！

——ここに来るまでに(又は標準を切るまでに)強化して練習してきたことや全力で見ているところはありますか。

木村:800mはラストスパートで勝負が決まると言っても過言ではありません！

以前は周りの選手と比べた時の自分のスピードに弱さを感じていましたが、短女の皆との練習や、約1年間テーマにしてきた腹圧を爆発させて、ラスト150mで勝負できる姿をお見せしたいです！

弱点の強化に取り組んできたんですね！ぜひそこに注目してレースをご覧ください！